

厚生労働省和歌山労働局発表  
平成 22 年 5 月 28 日

担 当	厚生労働省和歌山労働局
	労働基準部監督課
	監督課長 田之上 英治
	監察監督官 井上 剛宏
	電話 073(488)1150 FAX 073(475)0113

## 介護事業場への自主点検結果について

厚生労働省和歌山労働局（局長松井玄考）は、和歌山県内で介護事業場を運営する法人に対して自主点検を行った。

自主点検結果から、全体の約 63%の事業場で基本的な労働条件に関する事項に関し、何らかの問題がみられた。

また、休業 4 日以上労働災害の発生件数は、全業種では減少傾向にあるが、社会福祉施設（介護・福祉施設）では増加傾向にある。

これらの状況を踏まえ、和歌山労働局では平成 22 年度において、介護事業場に対し重点的に監督指導等を実施することとしている。

### 1 介護労働者を使用する事業場を運営する法人全数に自主点検を実施

和歌山県内で介護事業場を運営する 581 法人に対して郵送により自主点検を行った。このうち、91.7%の法人（505 法人、663 事業場）から回答があった。

### 2 62.7%の事業場で何らかの問題がみられる（別添 1）

回答のあった事業場全体の 62.7%で何らかの問題がみられた。主な問題点としては、

全事業場で「時間外労働に関する協定の適正な運用がなされていない」、「年次有給休暇が未付与」、「雇い入れ時及び定期健康診断が未実施」、「安全衛生教育が行われていない」など

労働者 10 人以上の事業場で「パート等の就業規則の未整備」など

労働者 50 人以上の事業場で「産業医・衛生管理者の未選任」、「衛生委員会の未開催」があげられる。

### 3 労働災害発生件数も増加（別添 2）

休業 4 日以上労働災害の発生状況について、平成 12 年以降（最近 10 年間）全業種では減少傾向にあり、平成 21 年には死亡者数とも過去最少になったが、社会福祉施設（介護・福祉施設）では増加傾向にあり、平成 12 年と比べて平成 21 年では約 3 倍の発生件数となっている。

また、平成 21 年に発生した 73 件の休業 4 日以上労働災害の内容をみると、事故の型別では「動作の反動・無理な動作」（重い物を持ち上げてのぎっくり腰など）が最も多く全体の 26%、次いで「転倒」、「交通事故」となっている。事故の起因物別では「仮設物、建築物、構築物」（階段・通路など）が最も多い。

典型的な災害事例としては 利用者の介助中に腰を痛める、自動車等での利用者宅間の移動中の交通事故、施設内での転倒があげられる。

## 【和歌山労働局】介護労働者を使用する事業場の自主点検結果

### (1) 自主点検対象

#### 581 法人

県のHP（福祉保健部福祉保健政策局長寿社会課）等から抽出した、介護保険の適用を受けていると思われる介護事業場を運営する法人全数。ただし、医療施設、用具販売貸与のみの法人は除いた。

### (2) 自主点検回答状況

上記法人について和歌山労働局より平成 22 年 1 月を中心に自主点検票を郵送した。

- 対象法人 581 法人
- 返信あり 533 法人 返信率 91.7%
- 返信があった法人のうち、15 法人は労働者ゼロで労働基準法の適用対象外、13 法人は返信はあったが多忙等を理由に自主点検未回答
- 自主点検有効回答法人数 505 法人

表 1 署別（法人所在地）の返信状況

署	発送数（法人）	返信数（法人）	返信率（法人）
和歌山	312	284	91.0%
御坊	59	51	86.4%
橋本	77	71	92.2%
田辺	65	62	95.4%
新宮	45	43	95.6%
他府県	23	22	95.7%
全体	581	533	91.7%

### (3) 自主点検結果

自主点検票の回答があった 505 法人、663 事業場について、回答結果を分析した。

表 2 署別（事業場所在地）の回答結果

回答結果について、労働基準法、労働安全衛生法等の問題がみられ、労働条件の基本的な枠組みが確立されていないと思われるもの。

署	全体			10 人未満			10 人以上 50 人未満			50 人以上		
	事業場数	問題有	率	事業場数	問題有	率	事業場数	問題有	率	事業場数	問題有	率
和歌山	358	214	59.8%	141	85	60.3%	166	103	62.0%	51	26	51.0%
御坊	74	38	51.4%	19	12	63.2%	40	23	57.5%	15	3	20.0%
橋本	99	65	65.7%	39	25	64.1%	40	27	67.5%	20	13	65%
田辺	80	55	68.8%	23	17	73.9%	36	29	80.6%	21	9	42.9%
新宮	52	44	84.6%	20	14	70.0%	21	20	95.2%	11	10	90.9%
全体	663	416	62.7%	242	153	63.2%	303	202	66.7%	118	61	51.7%

**表3 自主点検項目別の回答結果**

自主点検の項目別の回答結果は以下の通り。

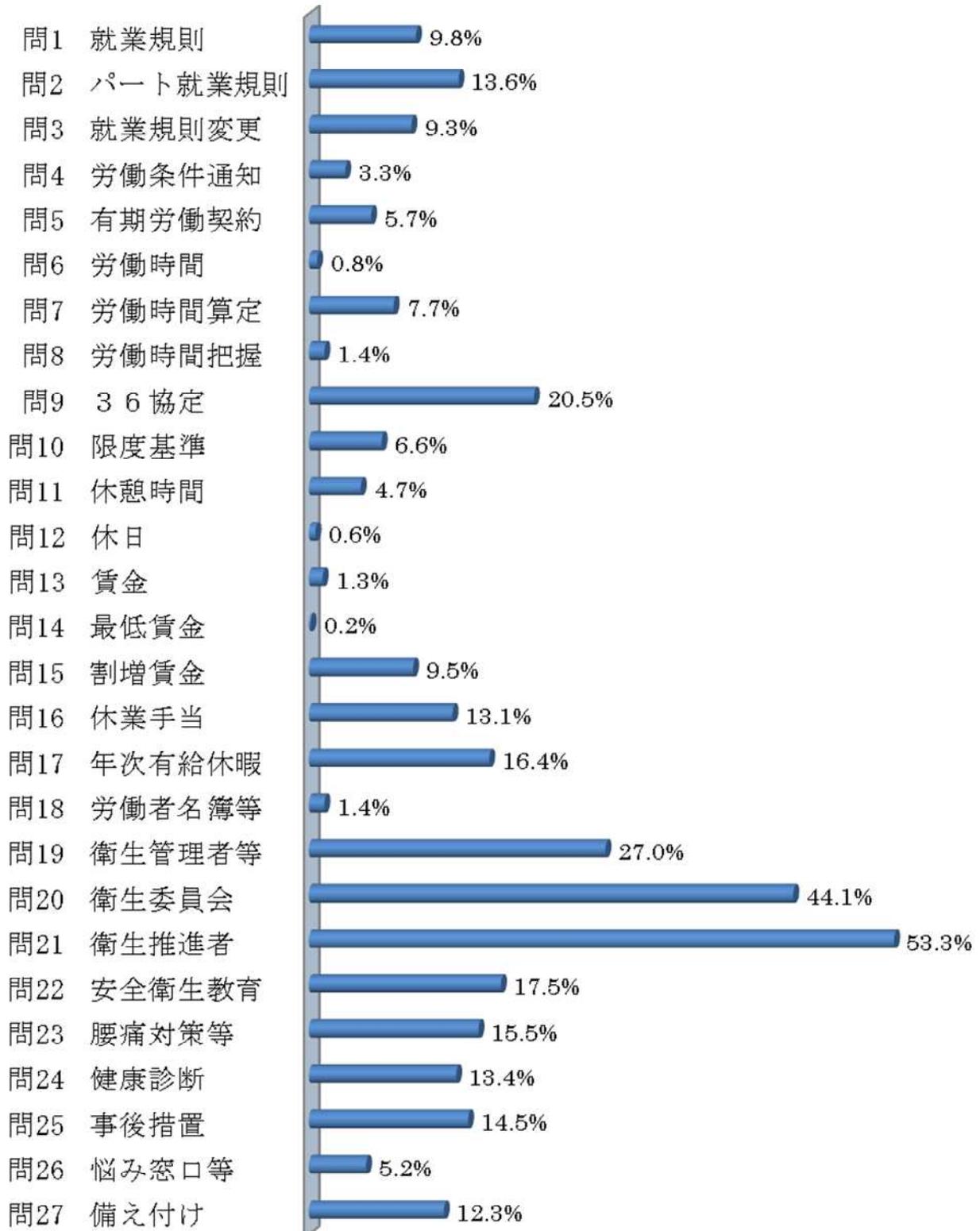
問	項目	問題有	回答事業場	有問題率
1	就業規則作成・届出(10人以上) <i>労働基準法第89条</i>	41	420	9.8%
2	パート等就業規則作成・届出(10人以上) <i>パートタイム労働指針</i>	54	396	13.6%
3	就業規則変更時の届出(10人以上) <i>労働基準法第89条</i>	37	396	9.3%
4	書面による労働条件通知 <i>労働基準法第15条</i>	22	663	3.3%
5	有期労働契約の期間・更新等の通知 <i>有期労働契約の締結、更新及び雇止めに関する基準</i>	36	634	5.7%
6	労働時間(週40時間、1日8時間) <i>労働基準法第32条</i>	5	663	0.8%
7	労働時間の適正な算定(会議・研修等) <i>労働基準法第32条</i>	49	634	7.7%
8	労働時間の適正な把握(タイムカード等) <i>労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関する基準</i>	9	634	1.4%
9	36協定(届出・運用) <i>労働基準法第36条</i>	136	663	20.5%
10	36協定(限度基準の遵守) <i>労働時間の延長の限度等に関する基準</i>	44	663	6.6%
11	休憩時間 <i>労働基準法第34条</i>	30	634	4.7%
12	休日 <i>労働基準法第35条</i>	4	663	0.6%
13	賃金の支払い方法(時期、控除等) <i>労働基準法第24条</i>	8	634	1.3%
14	最低賃金 <i>最低賃金法第4条</i>	1	634	0.2%
15	時間外労働に対する割増賃金 <i>労働基準法第37条</i>	63	663	9.5%
16	休業手当 <i>労働基準法第26条</i>	83	634	13.1%
17	年次有給休暇 <i>労働基準法第39条</i>	109	663	16.4%
18	労働者名簿・賃金台帳の作成 <i>労働基準法第107条、第108条、第109条</i>	9	634	1.4%
19	産業医・衛生管理者の選任・届出(50人以上) <i>労働安全衛生法第12条、第13条</i>	30	111	27.0%
20	衛生委員会の開催(50人以上) <i>労働安全衛生法第18条</i>	49	111	44.1%
21	衛生推進者の選任(10人以上50人未満) <i>労働安全衛生法第12条の2</i>	152	285	53.3%
22	安全衛生教育の実施 <i>労働安全衛生法第59条</i>	111	634	17.5%
23	腰痛対策・交通事故対策の実施	98	634	15.5%
24	雇い入れ・定期健康診断 <i>労働安全衛生法第66条</i>	89	663	13.4%
25	健康診断の事後措置 <i>労働安全衛生法第66条の5</i>	92	634	14.5%
26	仕事の悩み等に関する相談体制の整備	33	633	5.2%
27	就業規則等の職場への備え付け <i>労働基準法第106条</i>	78	634	12.3%

参考 労働基準監督署の管轄一覧

和歌山署	和歌山市、岩出市、海南市、海草郡
御坊署	御坊市、有田市、有田郡、日高郡
橋本署	橋本市、紀の川市、伊都郡
田辺署	田辺市、西牟婁郡、日高郡のうちみなべ町
新宮署	新宮市、東牟婁郡

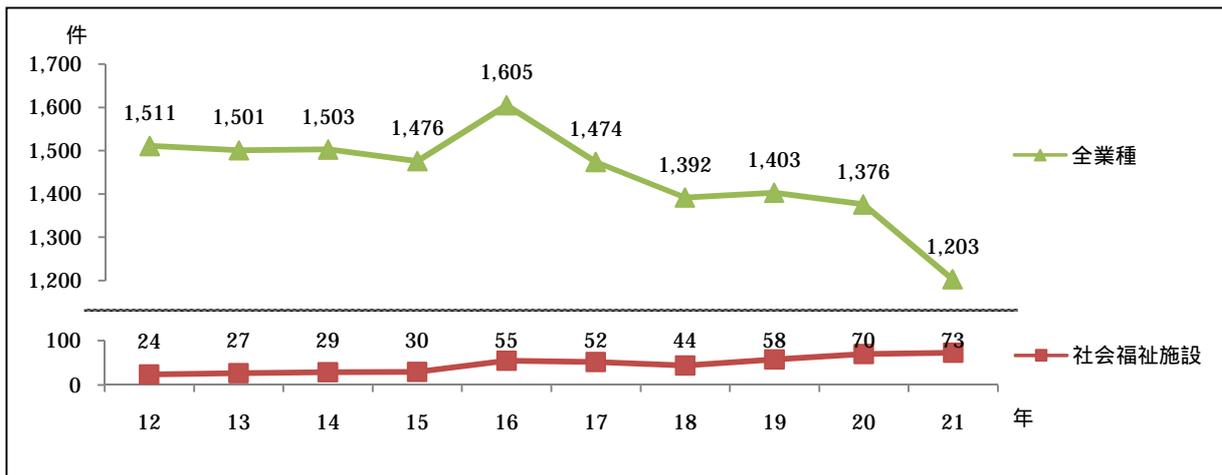
図 1

## 項目別回答結果（有問題率）

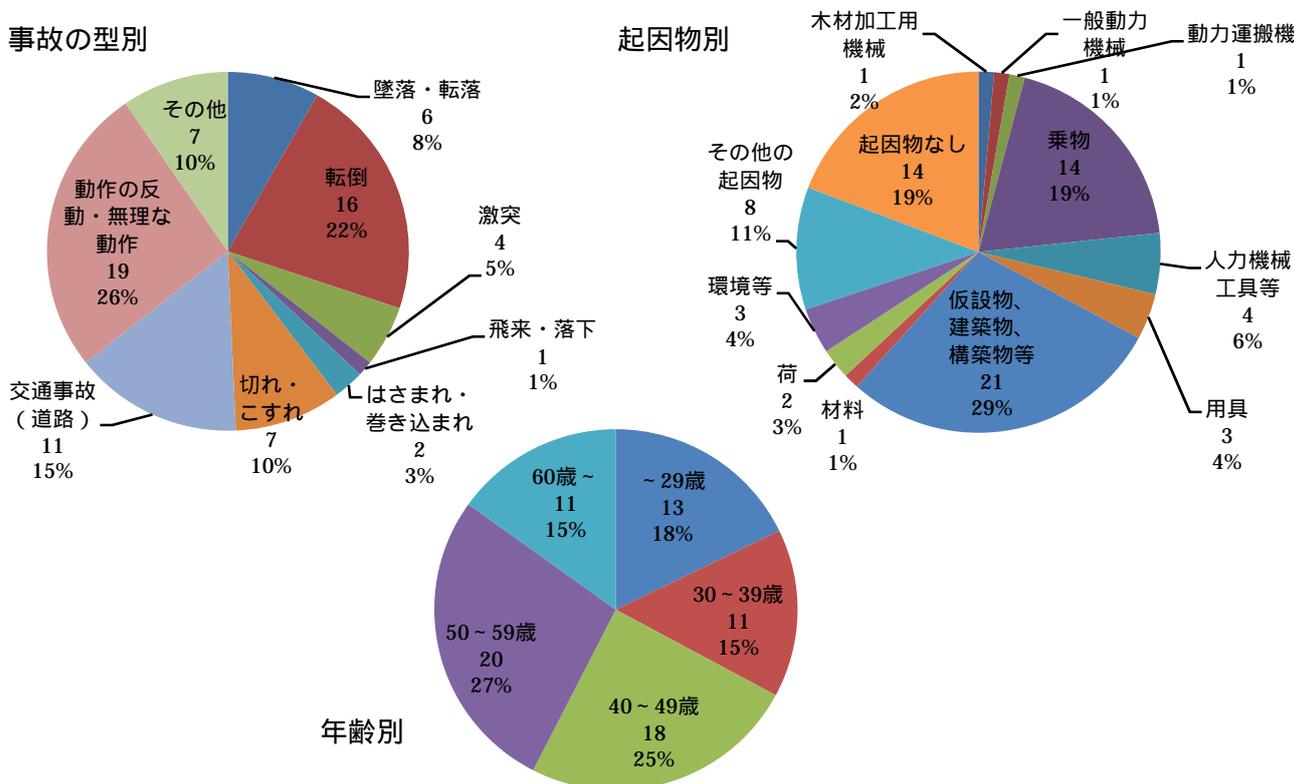


社会福祉施設（介護・福祉事業）における労働災害発生状況（和歌山労働局管内）

1 休業4日以上の労働災害発生件数の推移



2 平成21年の労働災害の傾向



3 重大災害・典型的な災害

災害発生日	労働者数	事故の型	起因物	被災者数等	災害発生状況
平成18年6月	50～99人	その他	その他の起因物	休業4日以上 1名 休業4日未満 5名	入所者の嘔吐物を媒介してノロウイルスに感染したもの。
平成21年2月	100～200人	動作の反動・無理な動作	その他の起因物	1か月	利用者をベッドから車いすに移乗する時、腰を痛めた。
平成21年11月	50～99人	交通事故（道路）	乗物	6か月	利用者を車で送迎中、誤ってガードレールに激突し、頭部等を打撲した。
平成21年10月	50～99人	転倒	通路	3か月	トイレ前をバケツを持って移動していたところ、床がぬれていたため滑って転倒し、手を骨折した。